

# ろくおん 通信

2023年2月1日発行

発行 日本ライトハウス情報文化センター

録音製作係

発行責任者 竹下 亘

電話 06-6441-1017

FAX 06-6441-1027

http://www.iccb.jp/

# No.255

## 今号の内容

◎図・表・写真の読み方：複数枚の時の読み方の例 …………… 1ページ

◎わかる 使える 広がる！ デイジー図書徹底解説（第37回）…………… 4ページ

最終校正（デイジー校正）のポイント：校正表にあげるかどうか

迷うケースQ&A その2

## 図表の読み方：複数枚の時の読み方の例

録音製作係 木田陽子

「ろくおん通信」No. 249（2022年2月発行の）に、図・表・写真など（以下、まとめて「図表」）を音訳する際のことを簡単に書きました。当館のマニュアル「デイジー図書 録音の順序」では、以下のような順番で文章を作っていくことにしています。

- ① 図表を読み込むデイジー図書のページ、原本とは違うページで読む場合は原本ページ、図表の種類、複数枚ある場合は図表の枚数
- ② 図表のタイトル（あれば読む）
- ③ 出典（写真の撮影者なども含めて、あれば読む）
- ④ 著者の説明文（当館では“キャプション”と呼んだりもしますが、これもあれば読む）
- ⑤ 音訳者による説明（音訳者が作文した部分がどこから始まるかがはっきりとわかるように、最初に「説明」などの文言を入れます）
- ⑥ 「図 おわり」・「写真おわり」など、①に対応する終わりの言葉。

また、編集者用のマニュアル「デイジー図書 編集のルール」では、デイジー編集を行う際、図表の始めと終わりの音声に（複数枚の場合は途中の「図1」、「図2」、…などにも）「グループ」の印（以下、G）をつける、と決めています。いってみれば「カギカッコ」と「カギカッコ閉じ」に飛べるよう、目印をつけるのです。上記の場合は①と⑥の音

声のフレーズにGをつけます。

ただ、図表が2枚以上になった時に、どう読めばよいかで迷っているかたもいらっしゃるように感じます。今回は、図表が複数になった場合の処理方法を考えていきましょう。

(1) 同じ種類の図表を続けて読む場合

たとえば、ある本の3～4ページに以下のような文章があったとします（図は適当に作成しましたので、誤っている部分はお許してください）。

……………（前略）……………。

囲碁と将棋は、どちらも縦横に線の引かれた盤を使用する。しかし次の図を見れば、碁石と駒を置く場所には違いがあるということがお分かりいただけるかと思う。

将棋の方は、幼いころに遊びで何度もやったことがあるので、ある程度馴染みがあった。ところが、後から囲碁の棋譜を初めて見た時には、一体どこを目がけて石を置いている

3

のかがすぐには理解できなかったのだ。打った場所を指し示す時、「4八何々」と2種類の数字で表すのは一緒なのに、碁盤の上の「4八」が見つけれないでいた。マスの中に入れるものだという固定観念が邪魔をして、交点だとは思いつけなかった。思い込みというのは本当に恐ろしい。

……………（後略）……………。

図1 囲碁の場合

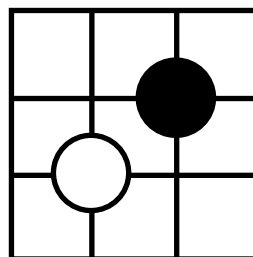
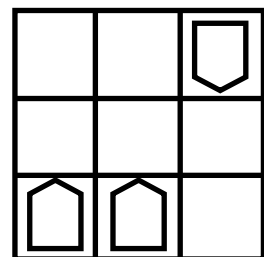


図2 将棋の場合



4

本文に「次の図を見れば」と書かれているので、図の説明は避けて通れません。ということで、読み原稿を作成することにしました。

音訳者による説明の文章は、誰が作文するかで内容が変わってきますが、一例として、3ページの「お分かりいただけるかと思う。」の後ろに入れる場合の読み原稿を考えてみたいと思います（「【G】」は、デイジー編集ソフトウェアでグループの印を付ける箇所）。

……お分かりいただけるかと思う。

【G】 3 ページ、原本4 ページ、図 2 枚。 [前述のマニュアルの①]

【G】 図1、囲碁の場合。 [②]

説明。碁盤の上に碁石が置かれている様子を表した図です。碁石は、縦横の線の交わったところ、交点の上に置かれています。 [⑤]

【G】 図2、将棋の場合。 [②]

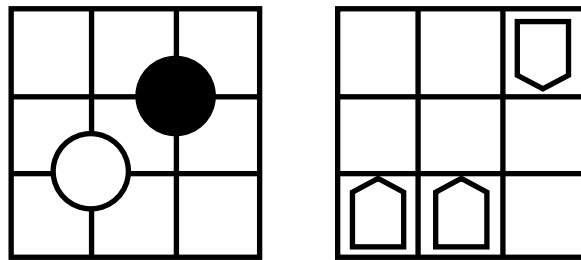
説明。将棋盤の上に駒が置かれている様子を表した図です。駒は、縦横の線によってできた四角いマスの中に入るように置かれています。 [⑤]

【G】 図 終わり。 [⑥]

将棋の方は、……。

## (2) 著者の説明文が複数枚に渡っている場合

先ほどは2枚の図に対して1つずつタイトル(題名)がついていましたが、こんなパターンもあります。



囲碁と将棋の違い(交点とマス)

「図2枚」と読みたいところですが、今回は2枚の図に対してタイトルが1つだけついています(著者の説明文の可能性もありますが、読み順は変わりません)。2枚を合わせて1セット、と考えれば、以下のような読み方ができるのではないのでしょうか。

……お分かりいただけるかと思う。

【G】 3 ページ、原本4 ページ、図。 [①]

囲碁と将棋の違い、交点とマス。 [②]

説明。図が2枚あります。片方は碁盤に碁石を置いた様子、もう片方は将棋盤に将棋の駒を置いた様子です。碁石は、縦横の線の交わったところ、交点の上に置かれています。将棋の駒は、縦横の線によってできた四角いマスの中に入るように置かれています。 [⑤]

【G】 図 終わり。 [⑥]

将棋の方は、……。

## (3) 種類の違う図表を続けて読む場合

図と写真、あるいは図と表とが近くに掲載されていて、同じ場所で連続して説明をする場合（章の最後に図表をまとめて読む時など）は、「○ページ図。……図終わり。」に続けて「○ページ写真。……写真終わり。」と、種類ごとに分けて読むのが原則になるかと思えます。

なお、特殊な例ではありますが、先日こんな処理方法をみかけました。その原本には、本文で話題になっている場所の周辺地図と、著者がその場を訪れて撮影した写真とが並べて掲載されていました。マニュアル通りのやり方でいけば別々に読むことになるかと思えますが、編集作業に回ってきた音源では「○ページ 図と写真。」とまとめて読み、図と写真を続けて説明していました。おそらく、図と写真に関連性が高いということで音訳者がそうしたのでしょう。非常に面白い処理の仕方でした。イレギュラーですが、編集の段階で「○ページ 図と写真。」に合うように「図と写真 終わり。」という文言を追加で録音してもらいました。

図表は、基本的にはマニュアルに沿って当てはめていけば読めるようになっています（全視情協発行の『音訳ボランティアテキスト 基礎課程編』にも、読み方の順序の例が掲載されています）。久々に図表が出てきて、どういう風に読むのか分からなくなった場合には、マニュアル類を確認していただければと思います。



## わかる 使える 広がる！ デイジー図書徹底解説(第37回)

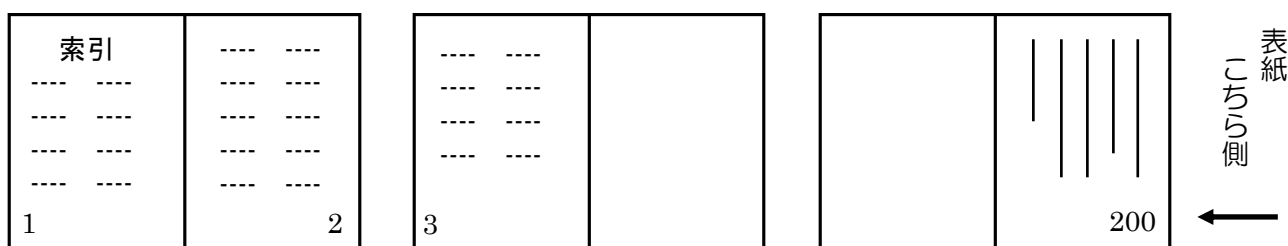
図書の特徴に合ったデイジー校正のポイントを紹介するこのコーナー。前回、校正者が校正表にあげるかどうか迷うケースについてとりあげたところ、非常に反響がありました。今回も引き続き、「利用に不便はないだろうか？」を基準に、Q&A形式でまとめます。音訳者もぜひご一読ください。

- Q1 図書の最後に、ページ数が反対から付いて記載されている「索引」などについて  
当館のマニュアル「デイジー図書 録音のルール」6ページには、「索引など、ページが反対からついている場合、ページは続きページとして変更して読む」とあります

が、本文の最終ページの後に白紙ページがある場合のページの付け方はどのようになりますか。

A 1 本文の後に白紙ページが数ページあるケースはよく見かけますね。原則として、白紙ページはカウントしないで、続きのページに変更します。

(例1) 本文が200ページで終わり、白紙ページが2ページ続き、そのあとに反対側から「索引 1ページ」とページ数が振られている場合



→ 「索引 201ページ」と変更して読みます。

※ 目次のページも忘れずに変更しておきましょう。

※ 目次に該当の見出しがない場合は「索引 201ページ」を追加します。

(例2) 本文が200ページで終わり、白紙ページが2ページ続き、そのあとに反対側から「参考資料」や「脚注 (あるいは巻末の注)」が始まっている場合

→ 本文のあとに読むなら「参考資料 201ページ」などとなります。

ただし、「参考資料」や「巻末の注」などは、原本通りの場所よりも、本文中の関連のある箇所で読んだ方がわかりやすいことがあります。こういった処理を行うかは、音訳前の打ち合わせ時に必ず相談しておきましょう。

**【ポイント】** 関連のある箇所で読んだ場合 (元の場所から移動した場合) は、「目次」の該当見出しの所でコメントを入れます。

→ 「参考資料 201ページ 参考資料は本文中の関連のある個所に読み込んでいます (読んでいます)。」などと読む。

※ 「参考資料」などを読む場所を移動した場合、元あった箇所にも「参考資料 201ページ 参考資料は本文中の関連のある個所に読み込んでいます」というアナウンスを入れておきます (再生機にページを直接入力して移動してきた人にも状況がわかるようにするため)。

## Q2 最終ページのページ付けについて

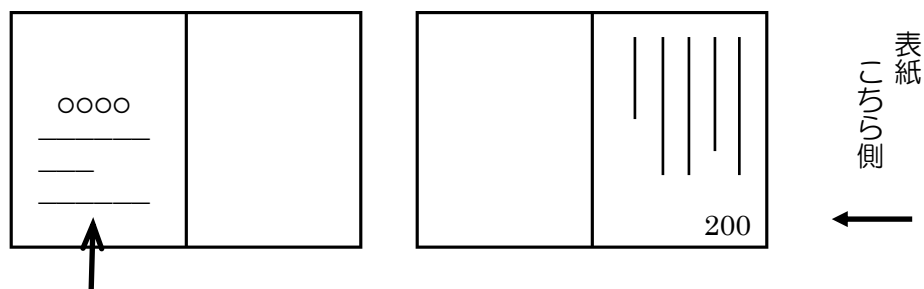
当館の「デイジー図書 編集のルール」6ページには、「最終ページは原本奥付に付ける」とあります。手順として、「本文最終ページプラス1ページ」と聞いていますが、白紙ページが数ページあった場合は、どのように考えたらいいでしょうか。また、白紙ページにページ数の記載がある図書の場合はどのようになりますか。

A2 白紙ページが数ページある場合も、白紙ページをカウントせず、「本文最終ページプラス1ページ」を推奨しています。

(例1) 本文が200ページで終わり、そのあと、白紙ページが2ページあった場合

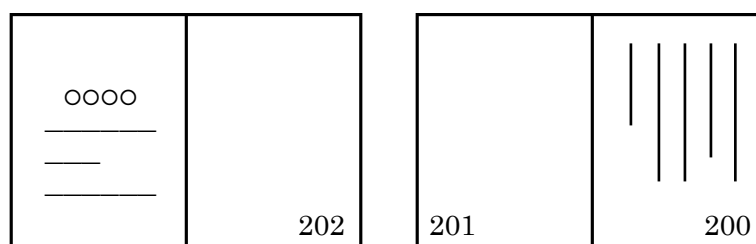
→ 「原本奥付」に201ページの印を付ける

(これは編集上の作業なので、音訳者が「原本奥付 201ページ」と録音する必要はありません)



「原本奥付」のページの最初の音声に「201ページ」の印をつける

(例2) 本文が200ページで終わり、そのあと201ページ、202ページと、ページ数だけが記載された白紙ページがある場合



→ 原則的には上記(例1)に準じますが、図書の特徴にもよりますので、迷った場合にはご相談ください。

「ウェブスタジオ・なにわ」の「担当範囲」欄には最終ページが記載されていますので、ご自身で確認することもできます。

なお、デージー校正者は「ウェブスタジオ」の情報を見ることができません。編集者は必ずCDラベルにページ数を転記してから、デージー校正に出しましょう。

### Q3 本文中に、「次ページの図参照」とあった場合について

当館の「——録音のルール」13ページには、「次ページに読まれていないときは、『次ページ』の部分を図や表が読まれているページに読み替える」とありますが、具体的な例を教えてください。

A3 「次ページの図参照」や「○ページの図参照」とある場合、利用者は、そのページに移動して図の説明文を聞きたいものですが、本文の関連するところで説明を入れるために図を読む場所を移動させた場合、音声は「次ページ」や「○ページ」のままでは探して聞くことができません。そんなときは、デージー図書で読まれているページに読み替えることで、利用しやすくなります。以下の例を参考に読み替えをお願いします。なお、いろいろなケースがあるかと思います。この方法ではうまくいかないと思われた場合はご相談ください。

(例1) 「次ページの図参照」とあるが、次ページで図を読まない場合

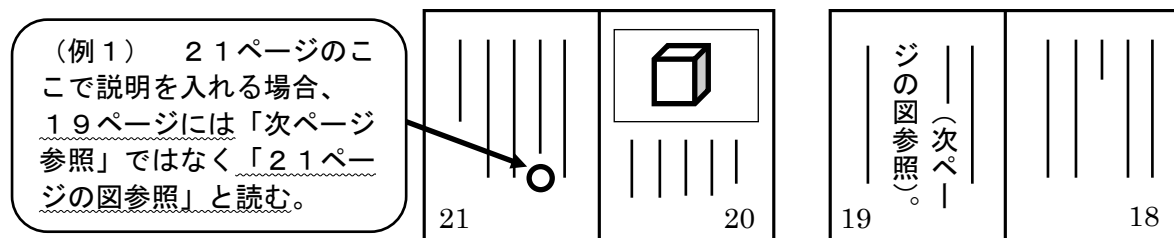
(例えば、次ページが20ページで、図の説明は21ページに入れる場合。)

→ 「21ページの図参照」と読み替えます。

(例2) 「○ページ図参照」とあるが、○ページで図を読まない場合

→ (例1)に準じます。

例えば、本文には「10ページの図参照」とあるが、11ページで図の説明をしている場合は「11ページの図参照」と読み替えます。



■ 図(表・写真)は、本文で話題の出たところで読みましょう。利用者は、「○ページの図参照」や、「○ページの図にあるように」などの文言を聞くと、「いつ図(表・

写真) が読まれるのかな?」と待っています。そのため、なかなか図の説明文が出てこない、不安になり、聞くことに集中できなくなります。

■ 図(表・写真)を読む適切な場所が、少し離れたところになる場合の対処法として、「～～参照」のところで、「図は、この項の最後に読んでいます」など、音訳者のコメントを入れる方法もあります。

【参考】 利用者が(例1)の図の説明を聞く時、操作手順はこうなります

- ① 「21ページ参照」のページ数を聞いて、21ページに移動。
- ② 「グループ移動」の機能を使って、該当の図の読み始め(頭部分)に移動(「グループ移動」を使わずそのまま順に聞く、あるいは「フレーズ移動」で探す場合もあります)。
- ③ 該当の図のところにたどりつくと、「21ページ、原本20ページ図」と聞こえてくるので、続きの説明を聞く。



## 館からのお知らせ

### ★ 1月製作開始分より新しい枠アナウンスでの録音をお願いします

前号(No. 254)に掲載しました通り、1月に打ち合わせを行った図書から、新たな枠アナで録音することになっています(12月までに製作開始した図書は旧枠アナ)。先の話になりますが、デイジー校正の訂正録音時には、終わりの枠を「デイジー図書奥付」として読むことになっていますので、前号の内容をご確認いただきますようお願いいたします。

### ★ 休室のお知らせ

2月11日(土): 建国記念の日

2月23日(木): 天皇誕生日

3月 3日(金): 創業100周年記念式典のため、全館休館

※詳細は「One Book One Life」1月号をご覧ください。

3月21日(火): 春分の日